

第 84 回〔2008 年度〕 日本選手権水泳競技大会

兼 国際大会代表選手選考会

飛 込 競 技

主 催 (財)日本水泳連盟
主 管 東京都水泳協会
期 日 4月2日(水)、3日(木)、4日(金)、5日(土)、6日(日)
ただし4月2日(水)、3日(木)は公式練習日
場 所 東京都・東京辰巳国際水泳場(江東区辰巳2-8-10)
競技種目

- (1) 男子個人競技の部 自由選択飛 各群より6演技種目
1m飛板飛込 決勝
3m飛板飛込 予選・準決勝・決勝
高 飛 込 予選・準決勝・決勝
- (2) 男子シンクロナイズド競技の部 6演技種目
3m飛板飛込 決勝
高 飛 込 決勝
制限選択飛(指定難易率2.0)2演技、自由選択飛4演技
4つ以上の群から選択し、同群からの選択は2演技以上とすること。
少なくとも1演技は前踏切を選択し、飛板飛込の場合には助走を伴うこと。但し前踏切を2演技以上
選択する場合、1演技は立ち飛込でもよい。
- (3) 女子個人競技の部 自由選択飛 各群より5演技種目
1m飛板飛込 決勝
3m飛板飛込 予選・準決勝・決勝
高 飛 込 予選・準決勝・決勝
- (4) 女子シンクロナイズド競技の部 5演技種目
3m飛板飛込 決勝
高 飛 込 決勝
制限選択飛(指定難易率2.0)2演技、自由選択飛3演技
4つ以上の群から選択すること。
少なくとも1演技は前踏切を選択し、飛板飛込の場合には助走を伴うこと。但し前踏切を2演技以上
選択する場合、1演技は立ち飛込でもよい。

競技方法

- (1) 個人競技種目
1m飛板飛込
・決勝競技のみ行う。
3m飛板飛込、高飛込
・各競技種目は予選を行う。
・準決勝進出者は予選12位までの選手とする。(繰り上げは実施しない)
・準決勝における競技順は予選に準じる。
・決勝進出者は準決勝上位8位までの選手とする。決勝進出者決定後、棄権者が出た場合には繰り上げ
を行い、8名を確保する。

- ・決勝における競技順は準決勝下位の選手からとする。
- ・決勝進出者の順位は決勝の得点合計により決定する。準決勝進出場の順位は準決勝の得点合計により決定する。

(2) シンクロナイズド競技種目

- ・決勝競技のみ行う。
- ・男子の部、女子の部ともに合同で競技を行う。

競技順序

- (1) 4月4日(金)
- | | | |
|-------|------------|--------|
| 1. 女子 | 3m飛板飛込 | 予選・準決勝 |
| 2. 男子 | 1m飛板飛込 | 決勝 |
| 3. 女子 | 3m飛板飛込 | 決勝 |
| 4. 男女 | 3mシンクロナイズド | 決勝 |
- (2) 4月5日(土)
- | | | |
|-------|--------|--------|
| 5. 男子 | 3m飛板飛込 | 予選・準決勝 |
| 6. 女子 | 高飛込 | 予選・準決勝 |
| 7. 男子 | 3m飛板飛込 | 決勝 |
| 8. 女子 | 高飛込 | 決勝 |
- (3) 4月6日(日)
- | | | |
|--------|-------------|--------|
| 9. 男子 | 高飛込 | 予選・準決勝 |
| 10. 女子 | 1m飛板飛込 | 決勝 |
| 11. 男子 | 高飛込 | 決勝 |
| 12. 男女 | 10mシンクロナイズド | 決勝 |

参加選手数、その他の理由により一部変更することがある。

申込み規定

(1) 資格

競技者は(財)日本水泳連盟競技者登録(2007年度)完了者で中学生以上であること。なお、2008年度も競技者登録することを前提とする。

競技者が所属する団体も同様に団体登録が完了していること。

個人競技種目

イ. 2007年度下記競技会の当該競技種目において標準点数を突破(同点可)した者。

- ・室内選抜競技大会
- ・関東選手権
- ・関西選手権
- ・日本選手権

ロ. 当該競技種目において2007年度の競技会で下記の成績であった者。

- ・国民体育大会 3位以内
- ・学生選手権 3位以内
- ・高校選手権 3位以内
- ・全国中学水泳競技大会 3位以内
- ・JOCジュニアオリンピック3位以内(年齢区分B・C)

上記イ・ロ項以外で(財)日本水泳連盟飛込委員会の推薦を受けた者。

ハ. (財)日本水泳連盟飛込委員会は1競技種目3名を限度として推薦を行い、出場権を与える。

- ・推薦を希望する選手は1月11日(金)正午までに加盟団体を通じ「推薦願い」を(財)日本水泳連盟飛込委員会日本選手権飛込競技宛に提出すること。

シンクロ競技種目

イ. 参加するチームは両名の内、少なくとも1名は個人競技種目に出場すること。ただし飛込委員会推薦出場チームを除く。

ロ. 前項の他に、(財)日本水泳連盟飛込委員会の推薦を受けた者。(財)日本水泳連盟飛込委員会は1競技種目3チームを限度として推薦を行い、出場権を与える。

(2) 制限

難易率合計下限

男子1m飛板飛込 - 15.0以上 女子1m飛板飛込 - 11.0以上

代表選手選考の対象となることを望む者は下記の制限を満たすこと。

イ. 難易率合計下限(自由選択飛)

男子3m飛板飛込 - 16.4以上 女子3m飛板飛込 - 12.6以上

選手選考

(1) 選考対象競技会

本大会の成績を参考に下記大会の派遣代表選手を選考する。

FINA グランプリ (カナダ・モントリオール～アメリカ・フォートローダーデール)

FINA グランプリ (イタリア・ローマ)

世界ジュニア選手権 16～18 歳 (ドイツ・アーヘン)

宿泊・弁当

トップツアー(株) 水泳デスク ジャパン係 担当 村田信次

TEL 055 - 222 - 0381 (月～金 9 : 00～18 : 00)

FAX 055 - 226 - 0318 Eメール SHINJI_MURATA@toptour.co.jp